

# 2011 港区民冬季テニス大会

主催 港区教育委員会  
(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団 (一財)港区体育協会  
主管 港区テニス連盟

大会役員 大会会長 堂山 幸男  
ディレクター 岡山 静  
レフェリー 植竹 龍彦  
大会運営係 Love All Tennis Club

日時 2011年12月18日 9:00~16:00 雨天中止

会場 有明テニスの森公園コート (ハードコート)  
当日の連絡 090-1117-5121

種目 男子ダブルス

集合時間

No. 2-3 12-13 17-18 27-28 31-32 41-42 46-47 56-57	の方は AM 8:50
No. 4-5 10-11 19-20 25-26 33-34 39-40 48-49 54-55	の方は AM 9:20
No. 6-7 8-9 21-22 23-24 35-36 37-38 50-51 52-53	の方は AM 9:50

上記以外の方は AM 10:20 までに受付を終了してください。

試合方法 トーナメント戦 1セットマッチ(6オールタイムブレークシステム) ノードバンテージスコアリング方式  
セルフジャッジ方式(天候等により変更する場合があります) 希望者のみコンソル有り

表彰 1~3位(表彰状・副賞)

その他

- ・試合球は主催者がブリヂストンXT8を用意する。
- ・試合前の練習は各サイド、サービス2本とする。
- ・けいれんやその他不測の事態が起きた場合は、日本テニス協会発行の「ルールブック2011」に準じる。
- ・勝者はゲーム終了後、速やかにスコアカードを本部に届ける。

セルフジャッジについて(選手の義務)

- ・判定とコール  
(1) ネットより自分側に関する判定は、全て自分の責任である。  
(2) 判定とコール〔「アウト」「フォールト」等〕は瞬間的に、又大きな声とジェスチャーで行われなければならない。
- ・カウントのコール(サーバーの義務)  
新しいポイント、新しいゲーム、新しいセットの始まる前には、サーバーは必ずレシーバーに聞こえるように大きな声でカウントをコールしなければならない。
- ・サービスのレット  
レシーバーから見て、どう見てもサーバーがフットフォールトを犯しているとは判断したときには速やかにレフェリー(又はコートレフェリー)を呼び事情を説明して、善処してもらうことが出来る。(但し、コートを出るときには相手方の了承が必要である)
- ・試合が終了したら  
勝者はスコアを大会本部に報告しなければならない。敗者はセットボールを持ち帰る。